

みずほCustomer Desk Report 2023/05/29 号 (As of 2023/05/26)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	139.87
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	140.02	1.0725	150.16	1.2318	0.6499
SYD-NY High	140.73	1.0758	150.91	1.2395	0.6544
SYD-NY Low	139.50	1.0702	149.81	1.2317	0.6490
NY 5:00 PM	140.61	1.0727	150.78	1.2351	0.6518
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,093.34	328.69	日本2年債	▲0.0700%	0.0000%
NASDAQ	12,975.69	277.59	日本10年債	0.4200%	0.0000%
S&P	4,205.45	54.17	米国2年債	4.5672%	0.0321%
日経平均	30,916.31	115.18	米国5年債	3.9359%	0.0184%
TOPIX	2,145.84	▲ 0.31	米国10年債	3.8090%	▲0.0132%
シカゴ日経先物	31,530.00	385.00	独10年債	2.5370%	0.0500%
ロンドンFT	7,627.20	56.33	英10年債	4.3345%	▲0.0375%
DAX	15,983.97	190.17	豪10年債	3.7480%	0.0550%
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	10.81%	0.01%
上海総合	3,212.50	11.24	USDJPY 3M Vol	10.60%	0.07%
NY金	1,944.30	0.60	USDJPY 6M Vol	10.60%	0.06%
WTI	72.67	0.84	USDJPY 1M 25RR	▲1.55%	Yen Call Over
CRB指数	260.70	2.21	EURJPY 3M Vol	9.92%	▲0.03%
ドルインデックス	104.21	▲ 0.05	EURJPY 6M Vol	10.23%	▲0.02%

東京	東京時間のドル円は140.02レベルでオープン。前日に年初来高値を更新し140円台でオープンするも本日は米国や英国が3連休を控えていることもあり上値重い推移となった。午後に入り、日本株が上げ幅を縮小させる動きにドル円も139.64を付け、結局139.69レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、139.69レベルでオープン。特段の材料がない中、午後に米4月PCEデフレーターなど経済指標の発表を控え、方向感なく推移。結局、139.76レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は140円台丁度付近でスタート。東京時間では、東京都区部5月CPIが発表され予想を下回るも、市場は反応薄。米国が3連休を控える中、節目140円台での持ち高調整が先行し、139円半ばまで反落する。その後、小幅反発し139.76レベルでNYオープン。朝方に発表された米4月PCEコアデフレーターが予想を上回り、利上げ観測が強まったことから、ドル買いが優勢となり140.30付近まで上昇。続いて発表された米5月ミシガン大学消費者マインド(確報値)も上方修正されたことや、マッカーシー米下院議長が債務上限問題を巡り「今朝の協議でも進展があった」との発言を受け、ドル買いが強まり、140.73まで上昇し、年初来高値を更新。午後も高値圏での推移が続き、週末を控え次第に積極的な取引が手控えられ、140.61レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台前半でスタート。特段の材料が見当たらない中、1.0740を挟んだ方向感乏しい推移が続き、1.0753レベルでNYオープン。朝方は米経済指標の結果を受け、ドル買いが優勢となる中、安値の1.0702まで下落する。その後は下げ渋り、小幅反発し1.07台前半まで値を戻す。午後は週末ムードで、1.0720近辺で揉み合いとなり、1.0727レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上遠野・大橋

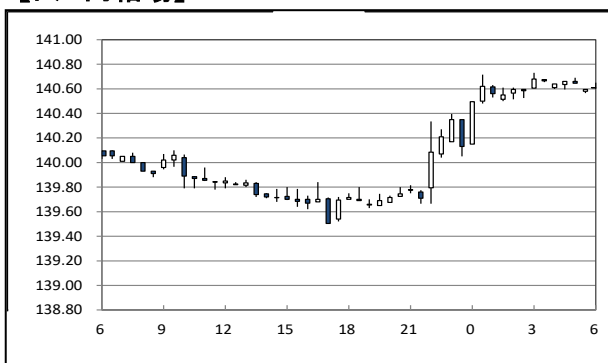
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月26日	21:30	米 個人所得(前月比)	4月 0.4%	0.4%
	21:30	米 個人支出(前月比)	4月 0.8%	0.5%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	4月 0.4%/4.7%	0.3%/4.6%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド(確報値)	5月 59.2	58.0

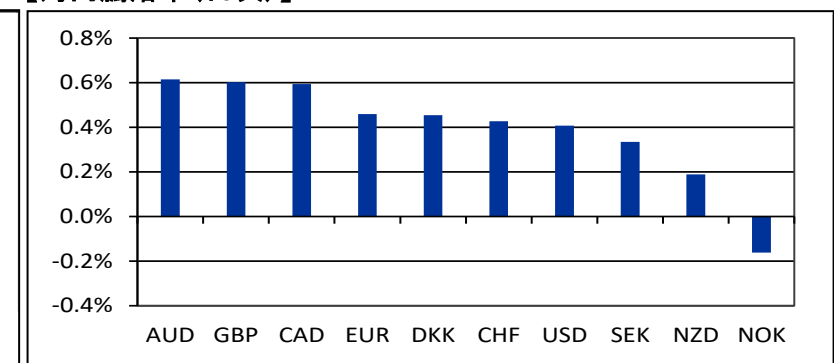
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
主要経済指標の発表なし				

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	139.80-141.80	1.0700-1.0790	149.90-151.60

【マーケットインプレッション】

先週26日のドル円は、前日に140円台を示現した達成感、および米国連休を前に東京時間から海外時間にかけては140円前半で上値の重い推移となるも、NY時間に米国経済指標の堅調結果を受けて大きく上昇し一時140.73と昨年11/23以来約半年ぶりの高値水準を付ける展開となった。米4月個人消費支出(PCE)が1月以来で最大の伸びとなり、PCEコアデフレーターも市場予想を上回る伸びとなったこと、また4月耐久財受注額、ミシガン大5月消費者態度指数が軒並み強い結果となったことで米金利上昇とともドル買いが強まり大幅上昇となった。加えて、メスター・クリーブランド連銀総裁のタカ派発言やIMF報告においてFRBの追加利上げ観測が判明したこと、また米国債務上限を巡ってもデフォルト回避への期待感から米株が上昇したことなどもサポートとなった。本日ドル円相場は引き続き上値を試す展開を想定。上述米国経済指標の堅調さや、根強い消費者支出とインフレの高止まり感を背景にFRBの追加利上げ期待が再浮上しており、米長期金利も約2ヵ月半ぶり水準まで上昇。さらに懸念の米国債務上限問題を巡っては、先週末バイデン大統領とマッカーシー下院議長の基本合意なされ31日の議会承認に向けた期待感からリスクオンへの傾倒が勢いづくものと想定されよう。本日は米国休場につき参加者は限られるものの、目下上値抑制材料も見当たらず、基本的な上昇地合いを継続するものと見込まれる。